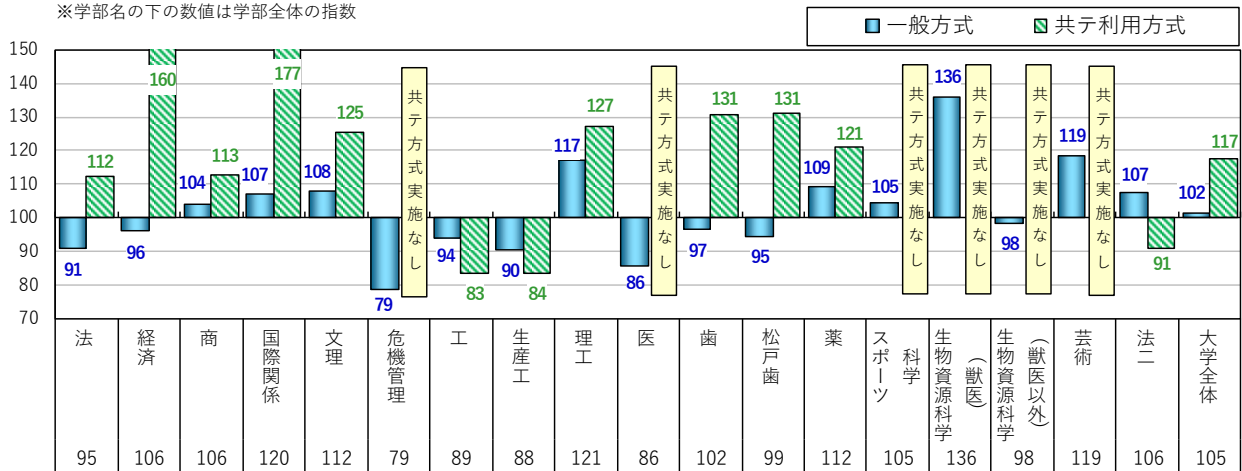


日本大：大学全体では3年ぶりに増加

一般：+1,119人 共テ：+3,617人

※前年度の志願者数を100とする指数
 ※学部名の下の数値は学部全体の指数



主な入試変更点

学科改組：生物資源科学(生命農、獣医、動物資源科学、森林資源科学、海洋生物資源科学、生物環境工、応用生物科学、生命化、食品ビジネス、国際地域開発、食品生命、くらしの生物)→(バイオサイエンス、獣医、動物、海洋生物、森林、環境、アグリサイエンス、食品ビジネス、食品開発、国際共生、獣医保健看護)

選抜方法：国際関係…<一般・A個別方式第3期>新規実施
 工、理工、薬、生物資源科学(獣医)、芸術…<一般・N全学統一方式第2期>新規実施
 芸術(音楽/声楽、ピアノ)…<一般・N全学統一方式第1期>新規実施
 (演劇/演技、舞台美術、舞踊)…<一般・N個別方式第1期>新規実施
 文理(中国語中国文化)…<共テ利用・C方式第2期>廃止
 理工…<共テ併用・CA方式>廃止
 芸術…<一般・A個別方式第2期>廃止

COMMENT

※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、大学を取り巻く厳しい環境の緩和と2年連続減少の反動で4,736人(105)のやや増加だが、志願者数は10万人にわずかに達しなかった。方式別では、一般方式(102)は微増、共通テスト利用方式(117)は大幅増加。学部別では、17学部中11学部が増加、6学部が減少。特に、理工(121)、国際関係(120)、(芸術)(119)が大幅増加。一方で、(危機管理)(79)が大幅減少。

<一般方式>

- 法(91)は、前年度やや増加の反動で減少。学科別では、5学科中4学科が減少。公共政策(102)は微増だが2年連続増加。一方で、(経営法)(74)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(新聞)(87)は3年連続減少、(法律)(93)は前年度増加の反動でやや減少、(政治経済)(94)はやや減少で3年連続減少。
- 経済(96)は、やや減少で2019年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、3学科全て減少。(産業経営)(86)は減少で2019年度以降前年度の反動による増減が継続。(金融公共経済)(95)はやや減少で5年連続減少、(経済)(99)は微減だが2019年度以降前年度の反動による増減が継続。
- 商(104)は、3年連続やや減少の反動は小さくやや増加。学科別では、(会計)(110)、(経営)(108)はいずれも2年連続増加。一方で、(商業)(99)は微減だが2年連続減少。
- 国際関係(107)は、2年連続減少の反動と<一般A3期>の新規実施でやや増加、既存の方式のみでは(99)の微減。学科別では、(国際総合政策)(113)は2年連続減少の反動で増加。(国際教養)(100)は2年連続減少の反動はなく、前年度並。
- 文理(108)は、3年ぶりに増加。学科別では、18学科中11学科が増加、7学科が減少。特に、(ドイツ文)(201)は2年連続大幅減少の反動で倍以上、志願者数は500人を上回った。(哲)(128)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(社会福祉)(122)は前年度減少の反動で大幅増加、(英文)(117)、(国文)(115)はいずれも2年連続減少の反動で大幅増加。一方で、(中国語中国文化)(82)は4年連続増加の反動で大幅減少、(物理)(84)は大幅減少で2年連続減少。
- 危機管理(79)は、大幅減少。2016年度の学部新設以降、前年度の反動による増減が継続。方式別では、<全学N2期>(74)は大幅減少で4年連続減少、<一般A方式>(78)、<全学N1期>(80)はいずれも大幅減少。
- 工(94)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、6学科中減少が4学科、増加が1学科、前年度と同数が1学科。特に(電気電子工)(65)は6年連続増加の反動で大幅減少。一方で、(土木工)(131)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加。
- 生産工(90)は、減少で2019年度以降前年度の反動による増減が継続。学科別では、9学科中8学科が減少。特に(環境安全工)(75)は大幅減少で3年連続減少、(電気電子工)(76)、(創生デザイン)(80)はいずれも前年度やや増加の反動で大幅減少。一方で、(建築工)(111)は2年連続減少の反動で唯一の増加。
- 理工(117)は、2年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、14学科中13学科が増加で、その中の9学科が大幅増加。特に25%以上の増加は、(交通システム工)(149)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、(電気工)(144)、(まちづくり工)(129)、(航空宇宙工)(127)はいずれも2年連続減少の反動で大幅増加。一方で(数)(85)は3年連続増加の反動で大幅減少。
- 医(86)は、5年連続減少。方式別では、新設2年目の<全学N2期>(76)は大幅減少、前年度から<一般A方式>の廃止に伴

い、募集人員 90 人となった<全学 N 1 期>(91)は減少で、志願倍率は 22.8 倍→20.7 ダウン。

- 歯(97)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。方式別では、<一般 A 方式>(95)はやや減少で 4 年連続減少。新設 2 年目の<全学 N 2 期>(97)はやや減少、<全学 N 1 期>(98)も前年度激増の反動はなく微減。
- 松戸歯(95)**は、前年度大幅増加の反動は小さくやや減少。方式別では、<一般 A 2 期>(63)は 4 年連続大幅減少、新設 2 年目の<全学 N 2 期>(98)は 1 人の微減、<全学 N 1 期>(99)は前年度激増した反動はなく前年度並。
- 薬(109)**は、増加で 5 年ぶりに増加に転じた。方式別では、新設の<全学 N 2 期>は募集人員 2 人、志願者数 105 人で志願倍率は 52.5 倍の高倍率だった。既存の<全学 N 1 期>(98)は前年度大幅増加の反動はなく微減、<一般 A 方式>(99)は微減だが 5 年連続減少。
- スポーツ科学(105)**は、2 年連続やや増加。方式別では、3 方式の全てが増加。<一般 A 方式>(109)は 2 年連続減少の反動で増加、<全学 N 2 期>(104)はやや増加で 2 年連続増加、<一般 N 1 期>(101)は前年度大幅増加の反動はなく微増。
- 生物資源科学(106)**は、学科改組により募集人員が 34 人(5%)減少したが、やや増加で 2 年連続増加。前年度との比較可能な 2 学科について見ると、(獣医)(136)は大幅増加、(食品ビジネス)(80)は大幅減少。

<共通テスト利用方式>

- 法(112)**は、2 年連続減少の反動で増加。学科別では、(政治経済)(159)は 2 年連続大幅減少の反動でほぼ 60%の大幅増加、(法律)(123)も大幅増加で 2 年連続増加、(公共政策)(113)は 2 年連続減少の反動で増加。一方で、(新聞)(49)は半減以下、前年度の反動による増減が継続、志願者数は 200 人を下回った。
- 経済(160)**は、2 年連続大幅減少の反動で激増。学科別では、(経済)(215)は、2 年連続減少の反動で倍以上。一方で、(金融公共経済)(66)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、志願者数は 200 人を下回った。(産業経営)(86)は前年度大幅増加の反動で減少。2019 年度以降は前年度の反動による増減が継続。
- 商(113)**は、2 年連続増加、志願者数は 4 年ぶりに 2,000 人を上回った。学科別では、(商業)(179)は前年度大幅減少の反動で 80%近い激増、2018 年度以降は前年度の反動による増減が継続。一方で、(会計)(64)は前年度 50%以上の大幅増加の反動で大幅減少、(経営)(84)も前年度大幅増加の反動で大幅減少、2017 年度以降 7 年間で 6 年が減少。
- 国際関係(177)**は、2 年連続大幅減少の反動で激増だが、コロナ禍による系統への低い人気からコロナ禍以前の 2020 年度対比では(72)の大幅減少。学科別では、(国際総合政策)(218)は 2 年連続大幅減少の反動で倍以上、(国際教養)(142)は 4 年連続減少の反動で大幅増加。しかしながら、2020 年度対比では(国際総合政策)は(66)、(国際教養)(82)といずれも大幅減少で、コロナ禍以前の志願者数への回復は見られない。
- 文理(125)**は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、18 学科中 15 学科が増加。特に、(地球科学)(182)、(英文)(166)はいずれも前年度大幅減少の反動で激増、(心理)(152)は 2 年連続大幅減少の反動で 50%以上の大幅増加。一方で、(中国語中国文化)(32)は 2 年連続大幅増加の反動で激減。
- 工(83)**は、大幅減少で 3 年連続減少。学科別では、6 学科中(土木工)(108)のみ増加で、これを除く 5 学科はいずれも減少。特に、(電気電子工)(64)、(生命応用化)(68)の 2 学科は大幅減少。
- 生産工(84)**は、大幅減少で 3 年連続減少。学科別では、9 学科中 2 学科のみが増加。(建築工)(123)、(数理情報工)(118)はいずれも 2 年連続大幅減少の反動で大幅増加。一方で減少した 7 学科では、(環境安全工)(35)は前年度大幅増加の反動でほぼ 3 分の 1 の激減、(電気電子工)(64)、(応用分子化)(73)、(マネジメント工)(79)、(機械工)(81)の 5 学科は大幅減少。
- 理工(127)**は、2 年連続減少の反動で大幅増加。学科別では、14 学科中 11 学科が増加、その中の 7 学科が大幅増加。特に、(電気工)(190)、(建築)(171)、(航空宇宙工)(169)の 3 学科は激増で、いずれも前年度大幅減少の反動。一方で、減少した 3 学科の減少率は低く、最も高い(海洋建築工)(90)でも 10%の減少。
- 歯(131)**は、3 年連続減少の反動で大幅増加、志願倍率は 3 年ぶりに 15 倍を上回った。方式別では、共通テスト実施後が出願締切日の<共テ利用 C 2 期>(174)は共通テストの平均点アップの影響を大きく受けて大幅増加。
- 松戸歯(131)**は、2 年連続大幅増加。共通テスト実施後が出願締切日の<共テ利用 C 2 期>(218)は共通テストの平均点アップの影響を大きく受けて大幅増加、<共テ利用 C 1 期>(112)は前年度大幅増加に引き続き増加。
- 薬(121)**は、大幅増加で 2 年連続増加したが、志願者数は 4 年連続で 400 人を下回ったが、募集人員が 2 人減少で志願倍率は 4 年ぶりの 40 倍台。